

避難するときのこころがけ

◆ 正確な情報を確認しましょう

大雨・洪水・台風などの状況を、テレビやラジオ、インターネットで確認しましょう。また、市の広報車や警察・消防からの呼びかけにも注意を払ってください。



◆ 早めに避難しましょう

広報車からの避難指示の呼びかけが始まる前でも、雨の状態から洪水の危険を感じたら、自主的に早めに避難しましょう。親戚の家など指定された避難場所以外の場所に避難する場合は、区長さんやご近所の方に一言連絡しましょう。



◆ 避難を始める前に

避難を始める前に、避難場所を確認し、万一家族が離ればなれになったときの集合場所を決めましょう。火元の始末や戸締まりも確認しましょう。また、ご近所の高齢者や身障者などの避難にも積極的に協力してください。



◆ 安全に避難するために

避難するときは、ひもでしめられる運動靴が最適です。長靴は禁物です。浸水している場所では、側溝や水路など深みの危険がありますので、長い棒で安全の確認しながら歩きましょう。一人での避難は危険ですから複数で行動しましょう。



◆ 車での避難は早めに

車で避難する場合は、交通渋滞や緊急車の妨げにならないよう、早めに避難しましょう。アンダーパスの道路や増水した川にかかる橋の通行は避けましょう。



◆ 避難が遅れてしまったら

避難が遅れて浸水してしまった場合は、建物の二階や屋根などの高い場所に移動し、落ち着いて救助を待ってください。

